放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　4年　12月　30日　　事業所名　くまろーず放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1				定員に対して適切なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	8					
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2	6			各部屋に1㎝程度の敷居があります。高さのある敷居は撤去しました。トイレ内には手すりを設置しています。今後も、必要であればスロープや手すり等の設置を行います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	2	1			業務改善について定期的に話し合いの場は設けていますが勤務時間の都合上参加できない職員がいる為、そういった職員の意見を聞く時間を設けて全職員が参画できるようにします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1				年1回、事業所評価アンケートを行い業務改善に努めていますが、全職員にアンケート結果の周知が出来ていなかった。結果と改善策を全ての職員に周知します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8					
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		1	7			第三者による外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2				勤務時間の都合もあり、全ての職員が研修に参加する事は難しい為、社内研修を積極的に行います。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1				アセスメント・課題分析等を適切に行い計画を作成しています。計画作成について、全職員に周知します。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2	4			標準化されたアセスメントツールは使用していません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8					
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8					
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8					
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2		6			送迎業務があり終了後に打ち合わせをする事は出来ない為、翌日のミーティング時に振り返りを行っています。 急ぎ伝えるべき事柄については、業務後に責任者に連絡する様にしています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8					
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	2				新入職員への周知が出来ていなかった為、再度全職員でガイドラインを確認しました。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8					
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8					
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	5			現在医療的ケアが必要なお子様の利用がありませんが、 今後必要になれば主治医等との連携体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8					
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	6	1			ここ数年、卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行される利用者様がいらっしゃらなかった為、情報提供する場がありませんが、今後移行される場合には情報提供等を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8					児童発達支援センターによる研修に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5	3			感染症予防の為、数年そのような機会が持てていません。 今後、感染症の状況が落ち着けば交流の場を設けたいと考えています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	2	3	2		管理者が参加していますが、協議会自体の説明が職員に出来ていなかった為、全職員に周知します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8					
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	4	3	1			ペアレントトレーニングは行っていませんが、必要であれば支援等について助言をしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8					
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8					
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	5			保護者会は感染症予防の為に現在は行っていませんが、状況をみて再開します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8					
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1				LINEやブログで日々の活動の様子や緊急時の連絡等をお伝えしています。また、長期休みについては行事予定を紙面でお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意している	8					

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	5			以前は地域の方との交流会を行っていましたが、現在は感染症予防の為、中止しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3	1			新入職員への周知が出来ていなかった。また、保護者様への周知も出来ていないマニュアルがあった為、皆さんへの周知を徹底します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8					
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8					
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		1	7			現在、身体拘束が必要なお子様の利用がない為、今後利用があれば適切に対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5	3			重篤なアレルギーのあるお子様の利用がない為、除去食等については保護者様と相談しながら対応させていただいています。今後、医師の指示書が必要なお子様が利用される事があれば適切に対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		2			ヒヤリハットの記入様式を変更し、記入しやすくしました。また、事例集を全ての職員が目を通しやすい場所に置いたり、日々のミーティングの際に共有します。